

事業番号	0	3	6
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	認知症見守りネットワーク推進事業				担当部	健康福祉部					
事業期間	平成22年度 ~ 令和2年度以降				担当課	地域包括ケア推進課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	08	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	03 民生費	項	02	目	01	大	03	中	08

2. 実施状況

認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症高齢者にやさしいまちづくりを推進するため、認知症見守りネットワークの推進につながるよう、認知症に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、認知症フォーラムを開催した。

実施日 :平成30年9月29日

内容 :「若年性アルツハイマーの母と生きる」講師 フリーアナウンサー 岩佐まり氏

場所 :まなび創造館 あさひホール

参加者数:250人

また、介護展や市民まつり等において、認知症に関する知識の普及・啓発を図った。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	財源	千円	-	-	104
	一般財源	千円	-	-	104	279		
	国・県支出金	千円	-	-	0	0		
	その他	千円	-	-	0	0		
	計(A)	千円	-	-	104	279		
	対前年比	%	-	-	-	268.3%		
	(当初)予算額	千円	-	-	306	658	725	
人件費	正職員	人	-	-	0.2	0.2		
	正職員(平均人件費)	千円	-	-	1,497	1,497		
	その他職員	人	-	-	0	0		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	-	-	0	0		
	計(B)	千円	-	-	1,497	1,497		
	事業費合計(C=A+B)	千円	-	-	1,601	1,776		
指標	成果指標	目標						
		実績						
	活動指標	フォーラム参加者数	目標	-	-	-	-	-
			実績	-	-	300	250	
			目標					
			実績					
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき
	<p>急速な高齢化の進行にともない、今後、認知症高齢者が増加すると予測されている。認知症は、誰もがなる可能性があり、また、介護者として関わる可能性のある身近な病気だが、「自分ごと」として認知症について考えることは難しい現状にある。</p> <p>このような状況の中、事業費及び活動指標の実績については、催事の内容により増減する傾向があるが、市民が認知症について、いかに関心を持って催事に参加してもらえるかを考え、工夫しながら事業を進めていく必要がある。</p> <p>認知症に関する正しい知識を持ち、認知症予防や認知症の人及びその家族に対する支援の取組みに参加することで、認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるような「認知症に理解の深いまちづくり」を進めていく。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>認知症に関する内容の普及・啓発は、急激に広まるものではないことから、介護展や市民まつり等を含むあらゆる機会をとらえ、今後も市民に興味・関心をもってもらえるような内容を検討しながら、事業を継続していく。</p> <p>総合的に、認知症見守りネットワーク推進事業については、事業全体のボリュームとして「維持」と判断した。</p>				